**教材９「日中戦争従軍兵の日記」**

**単元：第二次世界大戦（日中戦争）**

**キーワード：日中戦争**

**【資料１】※1937年（昭和12）に書かれた日記の一部。原文は左から右に記述されている**

　　十二月十一日 天気晴

戦益々たけなわにして、狂気の

如く砲銃声は轟き渡っている。

物凄い光景だ。部隊の入城は

まだ出来ず止まり居るため食

糧に不足を来し砲手・馭者は

附近の部落へ懲（徴）発に行く。

米二斗・鶏十一羽・漬物・サツマイモ

多数取って引上げて来る。部落

に残れる老婦女子は泣き叫び之

を止めるも、戦場に於て何処（如何）

することも出来ず、持って帰へれりと。

（滝本嘉博家文書「山砲兵分隊長滝本孝之陣中日記」）

**【資料２】日中戦争関係年表**

1937年 7月 7日　盧溝橋事件

　　　8月13日　第二次上海事変、日中戦争が本格化。

9月23日　中国国民党と中国共産党による第二次国共合作が成立。

11月20日　国民政府、南京から重慶への遷都を通告。

12月13日　日本軍、南京を占領。蒋介石政権、降伏せず。

**資料からの問い**

問１　**【資料１】**の傍線部について、この部隊はどこに入城しようとしているか？**【資料２】**を参考に考えよう。

問２　この部隊はどのように食糧を確保したのか？**【資料１】**を読み取ろう。

**解答例**

問１　南京。**【資料１】**は南京攻略直前の1937年（昭和12）12月11日の記述。

問２　近隣の集落から米・鶏・漬物・サツマイモを徴発した。

**この資料から学んでほしいこと**

・この日記の作者氏は大野市出身で、日中戦争に召集されたのち、1937年（昭和12）9月12日から翌1938年（昭和13）11月19日にかけて戦場の状況やできごとを書き記した。日記から、現地の状況や兵士の気持ちを読み取らせ、日中戦争について多面的に考察する際の一資料として活用したい。

**アーカイブズガイドはこちら！**

**「**[**日中戦争従軍兵の日記**](https://www.library-archives.pref.fukui.lg.jp/bunsho/file/614228.pdf)**」**



**さらに深める**

この日記は増田公輔『山砲兵分隊長滝本孝之陣中日記』として活字化されており、福井県立図書館で閲覧・貸出可能。書誌情報は[**こちら**](http://www.library-archives.pref.fukui.lg.jp/wo/opc_srh/srh_detail/1104611287)

ふくいのアーカイブズを活用した教材集

令和６年３月22日公開

問合せ先：福井県文書館　学校連携担当

E-mail：bunshokan@pref.fukui.lg.jp